

平成30年度 国語 『現代文A』 シラバス

講座名	現代文A	学年	2・3年
単位数	2単位	留意点	国語総合履修後の選択科目である。日本の近現代文学史に主要な作品として掲載のある小説を中心に、日本人としての文学的教養を高め、読解力を養う学習をする。
選択・必修	選択		
教科書	新編 現代文A (第一学習社)		
副教材等	なし		

◎科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◎授業計画 現代文編

	単元・教材名	学習内容	留意点
前期	4 新しい発見 なぜコロンブスの卵を書くのか(福田哲夫) 新しい地球観(毛利衛)	○文章の流れをつかみ、基礎的な読解方法を身につける。 ○筆者の論理的思考を学び、筆者の主張を理解する。 ○扱われている問題を自身に引き寄せて読解し、自らの視野を広げる。	
	5 小説を読む(一) 調律師のみ子さん(いしいしんじ) デューク(江國香織)	○小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を觀賞する。 ○作品世界の読解を踏まえ、小説の内容を批評できるようにする。	
	6 言葉と文化 数え方で磨く日本語(飯田朝子) 犬も歩けば棒に当たる(阿刀田高)	○筆者の主張・考え方を適切に読み取る力をつける。 ○言葉の背景にある文化や思考について、深く考えていく態度を養う。	
	7 詩を味わう 汚れちまった悲しみに…(中原中也) 生命は(吉野弘) 永訣の朝(宮沢賢治)	○近代詩・現代詩に親しむ。 ○近代詩/現代詩の觀賞の仕方を学ぶ。 ○近代詩/現代詩の技法について学ぶ。 ○想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。	
	9 小説(二) 相棒(内海隆一郎) ナイン(井上ひさし)	○小説を読み味わうおもしろさを体験し、短編小説を深く読み込む方法を身につける。 ○作品のテーマを捉え、自身の問題として考える姿勢を養う。	
後期	10 人間と文化 花女房(河合隼雄) コミュニケーションの文化(平田オリザ)	○論の展開に即して、文章を正確に読解する力を身につける。 ○文章の学習を通じて、身近な文化について考察する力を身につける。	
	11 小説を読む(三) 鼻(芥川龍之介)	○近代の小説を読解・觀賞する力を身につける。 ○小説表現の豊かさを学び、以後の読書生活に反映させる。	
	12 こころ(夏目漱石)	○小説世界を自身に引きつけて考える態度を養う。	

12 ～ 1	人生の風景 出島のチューリップ(吉田直哉) ワスレナグサ(星野道夫)	○随想的な文章の表現上の特徴を学ぶ。 ○作品の内容を正しく理解し、それぞれの人生の〈風景〉を想像する。	
1 ～ 2	小説を読む(四) ひよこの眼(山田詠美) 卒業(魚住直子)	○小説を読む面白さを味わい、感想と分析の仕方を学ぶ。 ○「働くこと」や「生死」、「他者」との関わりから、自己を見つめ直す契機とする。	
2 ～ 3	社会と文化 クマを変えてしまう人間(千松信也) 大量生産の眩暈(原研哉)	○文章の論理構造を把握し、筆者の主張を正確に読み取る。 ○文章で扱われている問題を自身に引きつけて考え、現代の社会や文化について考える契機とする。	
3	小説を読む(五) いろはに、こんぺいとう(原田ハマ)	○小説のより深い観賞と読解の力を身につける。 ○自身とは異なる境遇にいる語り手の心情を捉える読書好意を通じて、他人の気持ちに寄り添い想像する力を養う。	

◎評価の方法

- ・授業では、教材ごとに漢字の小テストを実施する予定である。
- ・教材ごとに学習課題プリントを解かせ、理解できているか評価する予定である。
- ・評価は、定期考査や小テスト（知識・理解）を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、前期は中間考査と期末考査を、後期は期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・長期休暇の際には、それぞれ漢字の課題を課す予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。